

発行: 山口市立小郡図書館 住所: 山口市小郡下郷609番地1 TEL: 083-973-0098 FAX: 083-973-2442
ホームページアドレス: <https://www.lib-yama.jp> メールアドレス: ogori@lib-yama.jp

No. 189

蔵書点検と防火訓練を行いました



1月28日(火)から2月4日(火)まで特別整理期間として休館し、蔵書点検を行いました。

蔵書点検では、まず在架の資料を正しい順番に並べ、専用の機械で一冊ずつ資料コードを読み込みます。その後、不明図書などを探しました。

また、この休館を利用して、防火訓練も行いました。初めに、館内の火災報知器等の消火設備の説明を受け、その後館内を巡回して消火器設置場所を確認し、最後に水消火器を使った訓練を行いました。

休館が明けた5日(水)は雪が舞う寒い日でしたが、たくさんの利用者の方にご来館いただき、改めて図書館で過ごすのを楽しみにしている方が大勢いらっしゃることを実感しました。



図書館に春の訪れ

図書館南側花壇



図書館の玄関近くに設置したプランターと図書館南側花壇に、小郡図書館園芸部ボランティアの皆さんが昨年11月初めに植えて下さった「ビオラ」がきれいに咲いています。

また、平成20年の開館当時に整備された花壇には、「春を告げる花」とも言われている水仙が咲き、これからはチューリップ等の球根の芽が、次々と土の中から顔を見せ、春の訪れを楽しませてくれることと思います。ご来館の際に、是非ご覧下さい。

新着情報

★一般図書

日本のビルベスト111

国民総株主

庭園日本一 足立美術館の挑戦

そんなときは書店にどうぞ

※個人の感想です

風待荘へようこそ

謎は花に埋もれて

だから捨ててと言ったのに

落語家の本音

あつとまーかんさいじん

@関西人

なかや こうじ
中谷 幸司//著

前澤 ゆうさく
前澤 友作//著

あだち たかのり
足立 隆則//著

瀬尾 まいこ//著

伊藤 あかり
伊藤 朱里//著

こんどう ふみえ
近藤 史恵//著

うさみ まこと//著

講談社//編

とうきょう ばん へんしゅうぶ
「東京かわら版」編集部//編

★児童図書

とっところびと

キツネのてがみや

ぼくはクルルをまもりたい

わらって、考える! イグ・ノーベル賞ずかん

フィールドに出かけよう! 野鳥の観察入門

ミルキーウェイ

出遅れテイマーのその日暮らし 13

18歳の壁

震災アーカイブを訪ねる

あらい えつこ
新井 悦子//さく
せきぐち ひろみ//え

マツソエ ヒロキ//さく・え

なりゆき わかこ//文

ふるさわ きよし
古澤 輝由//監修

秋山 幸也//著

ほりごめ かおる
堀米 薫//作

たなか ユウ//著

わだ ひでき
和田 秀樹//著

おおうち さとし
大内 悟司//著

☆ここに掲載した資料は新着資料の一部です。

図書館員のおすすめ本

おすすめの本は、AVブース4番の入口付近に置いています。

わたしの1冊

『標本バカ』

ひょうほん
かわだ しんいちろう
川田 伸一郎//著
あさの ふみひこ
浅野 文彦//イラスト



歪なチーターの剥製と足を故障した陸上部の少女を巡るYA小説、その作品に影響を与えた教師と高校生の骨格標本づくりの日々をまとめた本を読んで標本熱にうなされた。熱そのままに棚から手に取ったのが今回紹介する本だった。

内容はモグラ類の分類などが研究テーマの動物学者であり、国立科学博物館所属研究者である著者の標本エッセイである。標本の役割や作製するときの苦労、連綿と保存してきたものが自身を含め研究者や学生などの研究に役立ったり、展示で活用された標本が来館者に興味を持ってもらえたときの喜びが綴られている。

博物館の一角で妖しく照明を浴びていた標本の印象が、がらりと変わる1冊だ。

ティーンズおすすめ本

き な にほん もり
木が泣いている日本の森でおこっていること
ながはま かずよ
長濱和代//著 T.652 /ナカ/

日本是世界有数の森林国だと知っていますか？森と聞くと何を思い浮かべますか？日本人にとって森はとても身近な存在です。今、その森でたくさんのことが起こっています。この本では、森と人との歴史や暮らしの関わりを紹介しています。これからの森との付き合い方を知ることができ一冊です。

今月のテーマ
森



がっこう い ぼく がっこう
学校に行かない僕の学校

おさき えいこ
尾崎英子//作 T.1/オエ/

ある事をきっかけに学校に行けなくなった水川薫は、自分で選んだ『東京村ツリスクール』に入ることに。そこは森の中にある全寮制のフリースクール。今までは家でゲームばかりしていた薫は、ツリスクールで出会った人や森の中で過ごしながら、自分の心に向き合い、自分に合った道を歩み始める。



えほん は いかが!?



『ペニーさん』

まつおか きょうこ
マリー・ホール・エッツ//作 松岡 享子//訳 Eエマ

ペニーさんは家族である動物たちを養うため、工場で働いています。年老いたペニーさんに労働は苦でしたが、愛する動物たちを思えばなんのこともありません。

ところが動物たちときたら、金持ちであるお隣さんの畑を食い荒らしてしまいます。怒ったお隣さんはペニーさんに、動物たちを渡すか、膨大な無茶な仕事をするか、選ぶように要求するのでした…。

表紙にインパクトのあるエッツのデビュー作。

こどもクイズコーナー

『ことりの ゆうびんやさん』からの もんだいです。

せきれいがいなくなったあと、ゆうびんうけの なかに 4つのものは いました。そのなかに なかったのは どれですか。

- ① かれくさ
- ② かんぱん
- ③ かみのけ
- ④ かみきれ



ぜんかい
前回のクイズの答えは、
「④コート」でした。

3月の行事予定表

2日(日)	みんなのおはなし会	15:00~
※8日(土)	鉢の子多文化にふれる図書館講座 『読む』に困る人へのサポートを体験共有しよう 「読書バリアフリーってなあに？」	13:30~15:00
9日(日)	折り紙教室	15:00~
21日(金)	赤ちゃんのためのおはなし会	11:00~
23日(日)	4さい以上からのおはなし会	15:00~
※29日(土)	朗読カフェ 本と過ごす時間	13:30~14:30

※要事前申込 詳しくは館内配布のチラシをご覧ください

3月の企画展示

- ★一般向け 新刊横:「WANTED!この本読んでくれる人探しています!」
AVブース横:「おくりもの」
- ★児童向け 「ぼくらのともだち おにんぎょう」